



ナイターに白球飛び交う

熊日旗ナイターソフトボール大会

9月14日から10月17日にかけて桜ヶ丘グラウンドにおいて、第11回水川町熊日旗ナイターソフトボール大会が開催され、10チームが熊日旗を懸けて、熱戦を繰り広げました。

天候により、延期となる試合が多い中、各ブロックを勝ち上がった北竜と有佐レッズが決勝戦を戦いました。試合は2対2の同点で延長戦に突入し、先攻の有佐レッズが2点を取りましたがその裏に北竜が3点を取り返し、サヨナラで勝利するという白熱した試合展開となりました。

北竜は2年連続、5度目の優勝を飾りました。



▲2年連続5度目の優勝！北竜の皆さん

復興に力添え

日本郵政義援金

10月19日、水川町役場町長室において、日本郵政からの義援金が手渡されました。

この義援金は日本郵政グループよりポスト募金という形で義援金を募ったもので、熊本地震による被害が大きかった地域を中心に贈呈されました。

藤本町長は「復興への資金として大切に使用して頂きます」とお礼の言葉を述べました。



▲皆さまの気持ちを頂きました

医療と介護の連携を

「在宅医療と介護の連携に関する協定書」締結式

10月22日、セレクトロイナル八代にて八代市・水川町・八代市医師会・八代郡医師会による協定書締結式が行われ、中村博生八代市長・藤本一臣水川町長・田淵勝典八代市医師会長・保田周一八代郡医師会長及び立会人の木脇弘二熊本県八代保健所長が協定書に署名調印されました。

今回の協定は、高齢者が住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしく安心して暮らすことができるよう、医療と介護の連携による一体的な提供のための体制の構築を推進することを目的としており、在宅医療と介護の連携に協力して取り組んでいくものです。



▲連携強化に取り組みます

心躍る小さな庭園づくり

水川町担い手女性グループ寄せ植え研修

11月7日、水川町屋内ゲートボール場駐車場において、水川町担い手女性グループによる寄せ植え研修が行われました。

寄せ植えは数種類の花を同じ鉢に植え育て観賞するもので、色合い以外にも花の成長なども考えることで長く楽しむことができます。会員の皆さんは講師の指導のもと、思い思いの配置で小さな庭園造りを楽しまれました。



▲綺麗な花に心も躍ります

水川町代表として

たすきを繫ぎます

中学校駅伝大会出場選手激励会

11月8日、役場大会議室において、第61回男子、第29回女子熊本県中学校駅伝競走大会の激励会が行われました。

男子の部では竜北中学校が、女子の部では水川中学校が出場し、選手たちは一人一人抱負を述べ、藤本町長、太田教育長からの激励を受けました。

また、各学校代表として竜北中学校からは森野俊太郎さん(南鹿野)が「昨年の悔しい思いを、チーム一丸となつて頑張ります」と

と述べ、水川中学校からは山本南菜美さん(原田)が「水川町の代表として一人一人が自己ベストを出せるように頑張ります」と健闘を誓いました。



▲竜北中学校男子チーム



▲水川中学校女子チーム

消防団活動に長年貢献

秋の叙勲受章

11月14日、小田忠孝さん(有佐)が、長年の消防団活動への貢献を認められ叙勲を受章されました。

小田さんは旧宮原町消防団員として昭和48年1月から活動され、団長を8年、副団長を5年勤め、退任される平成16年3月31日までの通算31年3カ月にわたり消防団活動に尽力されました。

今回の受章を受け、伝達式及び拝謁のために上京された際の一連の様子を伺う中で「叙勲を頂けたことは大変嬉しく、ありがたいことです。町や地区のため、今後も貢献できればと思います」と話されていました。



▲叙勲を受章された小田忠孝さん(有佐)

丹精込めて育てたランを展示

水川愛ラン会品評会及び展示会

11月17日・18日、竜北福祉センター研修室において、水川愛ラン会の展示会が開催されました。

水川愛ラン会は町内外のラン愛好家18名で活動している団体で今回の展示会は毎年行っている恒例行事でもあります。

17日には品評会が行われ、今年はその会の会長である勝枝健一さん(北野津)が総合優勝に輝きました。

「ランは水のやり方や、日の当たり方など、育て方ひとつで全く違う花が咲く。ぜひ若い世代の方にもランの良さを知ってもらいたい。」と話されました。



▲水川愛ラン会の皆さん